

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:令和5年 7月 7日

配布32

回収27

回収率84%

児童発達支援事業所 北須磨キッズ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> 療育室1は基準を満たしています。 個別療育のため療育室2を設置しています。 療育に必要なスペースは確保できているが、より以上のものを考えるともう1室あれば理想です。 	はい27 ・いつもきれいに子供たちにわかりやすい環境になっていると思います。 ・とても広い室内だと思う。	・午後の療育についてはさらに小集団にする必要があるとのことでA・B2グループに分けて療育しております。
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> 基準より加配で配置しています。 療育に携わる職員はすべて保育士資格があります。 	はい27 ・毎回適切な人数だと思う。	・職員については十分な配置を行っています。利用者2対1もしくはそれ以上の配置をしています
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> その日のスケジュールを個人ごとに示しています。 室内はすべてバリアフリーになっています。 玄関までは階段とスロープを設置しています。 	はい27	・その日のスケジュールを個人ごとに作成することで見通しをもって活動できていることを実感しています。衝立を利用し部屋の構造化をしています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ対応などで登所時の検温、手洗いの徹底、机、椅子などのアルコール消毒を行っています。 集中して遊べるように目的に応じてパーテーションを活用しています。 	はい27 ・とてもきれいで息子も過ごしやすそうです。 ・すべてにおいて清潔です。	エアコン、空気清浄機、空気循環のための扇風機、窓の開閉など換気にも配慮しています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日の午前は従業員会議を開催し、連絡事項の確認、ケース検討会を実施しています。 		・火曜日の午前はミーティングとし、ケース会議療育の内容など話し合っていきます。今後も実施していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> 現在、第三者による外部評価は行っていません。 		・今後も予定はありません。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市総合児童センター主催発達障害支援サポート事業、その他の研修に積極的に参加しています。 毎週 火曜日、公認心理師を交え児童の発達についての学習会を全従業員で行っています。 		・各職員の年間研修計画書を作成し、計画的に受講しています。また週1回全職員の学習会は職場内研修として今後も続けていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画の作成	支援計画の作成前に、保護者の希望とお子さんの生活スキルチェックリストの記入をお願いし、それを元に支援計画を立てています。	はい27 ・こどもの特性を考慮していただいた上で、支援していただいているので、かなり成長につながっています。	・PEP検査の実施、保護者の希望生活チェックリストの記入などを聞き取り、個別支援計画を作成しています。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援の作成	・午前、午後クラスについては保護者のニーズやお子さんの年齢や発達状況などを鑑みグループ別に活動しています。また年長児が見本となれるような活動は、集団を大きくするなど工夫しています。		・個別活動は(課題学習・絵画療法など)週に1回 集団活動は毎日のスケジュールに入っています。(リズム・室内外遊びなど)
	3	児童発達支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・療育内容:生活習慣の獲得、体づくり・TEACCHモデルを取り入れた個別学習、コミュニケーション、社会性、家庭支援など記載しています。		療育終了後個別記録の作成をしております。 (個別療育、集団活動とも)
	4	児童発達支援計画に沿った適切な支援の実施	・PEP検査の結果をふまえ、また保護者の希望などのアンケートをもとに支援計画を作成しています。	はい27	・今後も継続していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・毎週火曜日の会議で1週間の活動プログラムを作成しています。 ・午前、午後担当を決め、立案は担当者が行うようにしています。		・今後も継続していきます。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・1週間ごとのプログラムを設定し、利用しているお子さん全員が経験できるようにしています。	たくさんの種類の課題が毎回準備されています	・今後も継続していきます。
	7	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎日9時5分からは全職員で、朝の打ち合わせを行っています。 ・午後は13時より担当職員で実施しています。		・今後も継続していきます。
	8	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・午前、午後療育終了後に、個人記録の記入とともに、振り返り、成長が見られた姿の共有、次への支援の注意点など話合っています。		・今後も継続していきます。
	9	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・その日のプログラムにそった個別記録を作成しています。		・今後も継続していきます。個別支援計画作成時の資料としても活用しています。
	10	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画	・支援計画作成前に保護者の希望、生活スキルチェックリストを配布し、それを元にモニタリングを実施しています。		・今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・障害手帳を取得されたお子さんについては、積極的に相談支援事業所を紹介しています。		・今後も継続していきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療ケア児は利用がありません。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療ケア児は利用がありません。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・就学に向けて小学校へ療育内容やお子さんの特性などの引継ぎ事項を保護者とともに作成し(ネットワークプラン)就学後提出できるようにしています		・今後も継続していきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・神戸市総合児童センターの実施している研修に積極的に参加しています。 ・専門性を高めるための研修には積極的に参加し研修報告書を提出し資質の向上を図っています。		・今後も継続していきます。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会の提供	・利用児はほぼ全員幼稚園、保育園に通っており特に交流が必要と考えておりません	はい12 いいえ2 わからない13	・年少のお子さんについては、いつもと違う環境で不安定になり、落ち着きませんでした。今後も実施予定はありません。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・特に取り組んでおりません。		・コロナもあり地域との交流はしておりません

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・利用決定時には支援内容についてお伝えし、重要事項説明書に基づき利用者負担など説明しています。	はい27	
	2	児童発達支援計画示しながらの支援内容の丁寧な説明	・支援計画に基づき説明を行っています。また療育内容について(特にご希望の多い個別療育)は随時見学をしていただいています。	はい27 ・定期的に説明、相談をしていただいています。	・当事業所の療育の特色を説明しそれに沿った支援計画であることを丁寧に説明しております。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・親子相互療法を実施しております。	はい21 どちらともいえない1 わからない5	・お子さんの特性や発達の状況などPEP検査結果報告とともに説明を行っています。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・送迎時には、その日の様子を口頭で伝えるか連絡ノートを作成し、家庭からの連絡、療育の様子を毎回交換しています。	はい27 ・その日できたことを教えていただいて成長を感じることができてうれしいです。	・今後も継続していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・個別相談については、電話での予約や送迎時及び療育日に相談を聞くなど、その都度対応しています。	はい25 どちらともいえない1 いいえ1 ・いつも親身になって聞いてくださっています。 ・困ったことや聞きたいことを連絡帳に書くときちゃんと対処してもらえて助かります。何回かあったときはしっかり相談に乗って下さり感謝しております。 ・希望者が希望したときだけでなく、定期的に半年に一度でも定められた面談があるとありがたいです。	・保護者からの子育ての悩み相談には、その都度、応じています。いつでもお声がけください。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・コロナなどで制約があり積極的に取り組めておりませんでした。	はい13 どちらともいえない2 わからない12 ・不明なことばあればいつもすぐに対応していただいています。 ・保護者の方との交流がコロナでほとんどなかった。	・令和5年度より「テーマ」を決め小集団での開催を予定しております。5月には就学を控えた保護者を対象に交流会を持ちました。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情については従業員全員に周知し改善方法を見出し、保護者への謝罪と解決策を説明しております。		・相談や申し入れがあった場合の対応体制は整備しており、重要事項として保護者へ周知しています。申し入れがあった場合は迅速に対応します。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・ことばのないお子さんには視覚支援を用い、コミュニケーションを進めています。また語彙が少なくうまく会話が続かないなどのお子さんには「絵カードコミュニケーション」を利用し、コミュニケーション力を高めていけるように取り組んでいます。	はい27 ・緊急時の連絡、臨時での出席可能になった時など、スマホやアプリやメールで配信などあれば職員の方の負担も減り、保護者の申請などしやすいのではないのでしょうか(出欠連絡など)	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月「キッズたより」を発行し、行事や日常の療育内容のねらいなどを発信しています。	はい26 わからない1	・毎月初め「北須磨キッズたより」の発行を継続いたします。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人ファイルは鍵のかかる書庫に保管し、名前が記入されている書類はすべてシュレダーにかけ処分しています。	はい25 わからない2	・今後も継続していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・年に数回マニュアルに沿って訓練、点検を行っています。職員には周知されているが保護者に周知徹底は確認に不十分かもしれない。	はい24 どちらともいえない1 わからない2	・各マニュアルは策定し、職員間では年に数回の確認を行っていますが保護者への周知について今一度工夫します。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	・避難訓練は、年4回行っています。6月 大雨、9月 地震、12月 火災、2月 不審者侵入実施についてはお便りでお知らせしております。 ・訓練や演習を丁寧に繰り返したい。	はい22 わからない5 ・子供から避難訓練をやったと聞いております。 ・しっかりしていただいていると思います。	・避難訓練実施については、毎月のお便りでお知らせしていますが、保護者への周知方法について工夫していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応	神戸市の基準に沿って年1回の研修を行っています。		・今後も継続していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画	・特に身体拘束の必要な場面はありませんでした。 不安定なときはクールダウンできる場所を設置し職員が個別に対応しています。		・今後も継続していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・食物アレルギーなどについては、入所時に聞き取りを行っています。 ・おやつのみ提供ですので医師の指示書まで必要なお子さんはいませんでした。		・今後も継続していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット事例があったときには、記録し全職員に回覧し共有しています。		・今後も継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか		はい27 ・親も子供もキッズへの通所がとても楽しみです ・とても楽しみにしています(3) ・前までは泣いたりしていたが、行くと明るくバイバイと言ってくれるように ・毎回、いやがることなく通っております ・その日、できたことを教えていただいて、成長を感じることができてうれしいです	
	2 事業所の支援に満足しているか		はい27 ・いつもありがとうございます。よろしく願います。 ・満足しています。もっと早く来たかったです ・できる事が増えてうれしいです ・固定曜日を休んで、別日に振り替えた時にも個別課題を実施してもらえる体制を作ってもらえると、子どもがとても喜び、ますますキッズが好きになると思います。混乱も少ないと思います。(今はキッズ=好きな課題なので) ・苦手な分野も伸ばしてくださり、大変満足しています ・困ったことや聞きたいことを連絡帳に書くときちゃんと対処してもらえて助かります。	

令和4年度の自己評価結果を神戸市の様式に則り公表いたします。

アンケート回答にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。

いただいた評価・ご意見は今後の事業所運営に活かしてまいります。